2024年度 募集要項
公募制推薦入試
短大公募制推薦入試

愛知大学
AICHI UNIVERSITY

【 目　次 】

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)‥‥‥ P.1
Ⅰ．公募制推薦入試(一般推薦)・
　短大公募制推薦入試(一般推薦) ‥‥‥‥‥ P.3
Ⅱ．公募制推薦入試(情報・簿記会計推薦) ‥‥ P.10

共通事項
出願準備‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.13
出願登録‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.14
入学検定料の支払い‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.15
出願書類の郵送‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.16
受験票の印刷‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.17
合格発表‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.17
「ＵＣＡＲＯ」合格発表に関わるご案内 ‥‥‥ P.18
出願に関するＱ＆Ａ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.19
注意事項‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.20
奨学金制度‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.21
学納金等‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ P.22

巻末綴込み書類
■推薦書（別紙①）
■愛知大学志望理由書(別紙②)
■愛知大学短期大学部志望理由書(別紙③)
■出願資格資料貼付用紙(別紙④)
■出願書類送付用宛名ラベル
（公募制推薦入試／短大公募制推薦入試）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神とし、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標（教育研究上の目的）および学位授与方針を定めています。本学では、これを達成するために、定められた教育課程に従い学修する資質、能力および知識を備えた以下のような学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
（1）建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生。
（2）優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]	（1）高等学校において学ぶ各教科の基本的な内容について、幅広く理解していること。
	（2）自身が入学する学部・学科で学ぶ学問に関する書籍等に触れ、基礎的な知識を得ておくこと。
[思考力・判断力・表現力]	（1）地域や社会で起こっている事柄に幅広く関心を持ち、その原因や解決方法などを自分なりに考える習慣を持つこと。
	（2）自身の考えや意見を他者に分かりやすく伝えることができるような、表現力を養うこと。
[主体性・多様性・協働性]	（1）取り組むべき課題や解決が必要な諸問題に対して、他者とも協働し、主体的に取り組むことができること。
	（2）自分と異なる意見や考え方について肯定的に捉え、多様な人々と積極的にコミュニケーションが取れること。

3. 選抜方法

（1）一般選抜	基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
（2）総合型選抜	出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
（3）学校推薦型選抜	調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

法学部　法学科

法学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
（1）法や政治、さらに経済など、社会科学の扱うさまざまな事象への関心を持ち、社会正義や人権についての感覚を大切にしている人。
（2）法や政治、社会的な諸問題を構造的に理解した上で、その考えを応用してさまざまな問題に対処し、社会に貢献したいという強い意欲を有する人。
（3）国際的な観点からわが国の法および政治の特徴や問題を分析したいという強い意欲を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
（1）高等学校の各教科、とりわけ国語、地理歴史・公民、数学についての基本的学力。
（2）外国語の基礎的な能力。
[思考力・判断力・表現力]
（1）論理的思考力。
（2）自分の考えを相手に的確に伝えることができる能力。
[主体性・多様性・協働性]
（1）社会の動きや状況について関心を持ち続けることができること。
（2）主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有していること。

3. 選抜方法
（1）一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
（2）総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
（3）学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経済学部　経済学科

経済学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
（1）主体的に学習する意欲を持っている人。
（2）経済・社会に関心を持っている人。解決を必要とする問題を発見し自ら解決できる経済学の専門知識と教養を修得する意欲と実行力を持っている人。
（3）地域社会、国内外の社会で活躍、貢献したいと思っている人。
（4）他者への思いやりや公正さを重んじ、異なる考え方を尊重する、自立した社会人になりたいと思っている人。
（5）柔軟な思考力、創造力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと思っている人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
（1）基礎学力（高等学校の各教科、とりわけ、国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科の基礎学力）を有すること。
[思考力・判断力・表現力]
（1）基礎的な論理的思考力、的確な主張、文章の表現力を有すること。
[主体性・多様性・協働性]
（1）基礎的な会話・コミュニケーション能力を有すること。

3. 選抜方法
（1）一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
（2）総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
（3）学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部　経営学科

経営学部経営学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
（1）企業、商品、市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
（2）ビジネスや行政などのさまざまな領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
（3）国家資格等を取得して、特定の専門職のプロフェッショナルを目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
（1）高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
[思考力・判断力・表現力]
（1）高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
[主体性・多様性・協働性]
（1）さまざまな課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法
（1）一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
（2）総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
（3）学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部　会計ファイナンス学科

経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
（1）企業活動、金融市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
（2）一般企業、行政および教育などのさまざまな領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
（3）公認会計士、税理士および国税専門官などの会計専門職を目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
（1）高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
[思考力・判断力・表現力]
（1）高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
[主体性・多様性・協働性]
（1）さまざまな課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法
（1）一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
（2）総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
（3）学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

現代中国学部　現代中国学科

現代中国学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
（1）中国に対して強い関心を持っている人。
（2）現地主義教育を通じて自ら成長したい人。
（3）アジアを中心とした国際社会で活躍したい人。
（4）グローバルな視野で社会貢献したい人。
（5）異文化体験を通して、自らが所属する文化・社会を理解したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
（1）バランスの良い基礎学力。
[思考力・判断力・表現力]
（1）物事を論理的に考え自分の考えを相手に説明できる能力。
[主体性・多様性・協働性]
（1）年齢、性別、国籍などの違いを越えて一緒に活動したり、話し合ったりできる力。

3. 選抜方法
（1）一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
（2）総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
（3）学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部　英語学科

国際コミュニケーション学部英語学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
（1）英語をはじめとする外国語を習得したい人。
（2）異文化理解に関心を持ち、異文化体験を通して視野を広げたい人。
（3）国際的な場での社会貢献をしたい人。
（4）企業の海外事業や国際流通部門、航空・旅行会社など、海外の人と関わる職業で活躍したい人。
（5）英語教師となり地域社会や教育の分野で自らの学びを還元したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
（1）英語学科での教育を受けるのに必要とされる高校卒業程度の教育課程を修得している。
（2）高校卒業程度の英語力を有し、日常生活に必要な英語を理解し、使用できる。
[思考力・判断力・表現力]
（1）物事を論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようと努力できる。
（2）自ら課題を発見・解決するための基礎学力を身につけている。
[主体性・多様性・協働性]
（1）主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲がある。
（2）多様な社会的・文化的背景を持つ人々に関心を持つことができる。

3. 選抜方法
（1）一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
（2）総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
（3）学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部　国際教養学科

国際コミュニケーション学部国際教養学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
(1) 国際交流に意欲を持っている人。
(2) 異文化理解に必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。
(3) 異なる社会・文化背景をもつ人々と積極的にコミュニケーションを取ろうと努める人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
(1) 国際教養学科での教育を受けるのに必要とされる高等学校の教育課程を修得している人。
(2) アメリカ・アジア（日本を含む）・ヨーロッパをめぐる歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係への関心をもち、必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。
[思考力・判断力・表現力]
(1) 現在の国際社会のさまざまな問題を多面的かつ論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようと努める人。
(2) 異文化理解を深めた上で、日本語・日本文化を海外に積極的に紹介したいと考えている人。
[主体性・多様性・協働性]
(1) 多様な文化背景をもつ人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲をもった人。
(2) 異文化を理解して国際社会や世界の中の地域社会において積極的に貢献したいと考えている人。

3. 選抜方法
(1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
(2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
(3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部　歴史地理学科

文学部歴史地理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
(1) [一般選抜]高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜]高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
(2) 人間や社会の歴史的展開や、人々が生活する地理的環境などについて興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
(3) 大学において学習、習得した歴史学・地理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていこうとする意思を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
(1) 歴史学や地理学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
[思考力・判断力・表現力]
(1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
[主体性・多様性・協働性]
(1) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
(2) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。

3. 選抜方法
(1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
(2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
(3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部　心理学科

文学部心理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
(1) [一般選抜]高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、生物、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜]高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
(2) 人間のさまざまな営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
(3) 大学において学習、習得した心理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
(1) 心理学を学ぶために必要な基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
[思考力・判断力・表現力]
(1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
[主体性・多様性・協働性]
(1) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
(2) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。

3. 選抜方法
(1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
(2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
(3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

短期大学部　ライフデザイン総合学科

短期大学部ライフデザイン総合学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
(1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。
(2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人
(3) 社会人・職業人になることの意味を積極的に考え、それに向かって努力できる人。
(4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
(5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語れる人

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
(1) さまざまな科目を広く学んだ基礎学力。
(2) 日本語による会話・コミュニケーション能力。
[思考力・判断力・表現力]
(1) 論理的思考力、的確な主張、文章の表現力。
[主体性・多様性・協働性]
(1) 豊かな経験に基づく学習意欲。

3. 選抜方法
(1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、国語・英語を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
(2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
(3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部　人文社会学科

文学部人文社会学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
(1) [一般選抜]高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜]高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
(2) 人間のさまざまな営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、過去あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
(3) 大学において学習、習得した人文学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
(1) 人文・社会系の学問に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
[思考力・判断力・表現力]
(1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
[主体性・多様性・協働性]
(1) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
(2) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。

3. 選抜方法
(1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
(2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
(3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部　日本語日本文学科

文学部日本語日本文学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
(1) [一般選抜]高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜]高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
(2) 「日本語」「日本文学」「日本語表現」について興味や関心を抱いており、過去から現在、未来へと至る日本文化について思考・構想することに魅力を感じている人。また、それを思考・構想するための高度な知識や分析方法を習得したいという意欲のある人。
(3) 大学において学習、習得した日本語・日本文学・日本語表現学に関する専門的知識や研究方法、広義のリテラシー能力を、将来的な自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていこうとする意志を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
(1) 日本語学や日本文学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
[思考力・判断力・表現力]
(1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
[主体性・多様性・協働性]
(1) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
(2) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。

3. 選抜方法
(1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
(2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
(3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

地域政策学部　地域政策学科

地域政策学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力および知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
(1) 故郷や住んでいる地域、自然環境を愛し、その変化に関心を持っている人。
(2) 地域の問題や地方の課題を解決したいと思っている人。
(3) 新しい政治や経済、行政のあり方を追求したい人。
(4) 安全・安心で個性的なまちづくり・社会づくりに情熱を持っている人。
(5) 知識の習得にとどまらず、豊かな人間性を育みたいと思っている人。
(6) 世界の人々と交流し異文化体験を糧として成長したいと願っている人。

2. 入学前までに修得すべき能力
[知識・技能]
(1) 地域政策学を学習するために必要な基本的な知識、読解力。
(2) ワープロソフト・表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの基本ソフトを操作する能力。
[思考力・判断力・表現力]
(1) 基本的な知識・技能を踏まえた論理的思考力・判断力。
(2) 課題について情報を収集し、分析し、表現する能力。
[主体性・多様性・協働性]
(1) 目的意識・意欲をもち、継続的にものごとに取り組む能力。
(2) 多様な考えを理解し、グループとしての意見を形成する能力。

3. 選抜方法
(1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
(2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
(3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

Ⅰ．公募制推薦入試（一般推薦）・短大公募制推薦入試（一般推薦）

１．趣　　旨

学力・人物ともに優れ、本学に学ぶことを強く志望し、将来国際社会、地域社会へ貢献することをめざす生徒を公募制推薦入試により受け入れる。

２．募集定員

学部	学科・コース		募集定員		
			専願制	併願制	
				学科試験型	面接型
法学部	法学科		１３名	２０名	-
経済学部	経済学科		１０名	２０名	-
経営学部	経営学科		１７名	１０名	-
	会計ファイナンス学科		８名	８名	-
現代中国学部	現代中国学科		１０名	８名	-
国際コミュニケーション学部	英語学科		１５名	２名	４名
	国際教養学科		８名	５名	３名
文学部（※）学部全体入試			１５名	２５名	-
地域政策学部	地域政策学科	公共政策コース	４名	３名	-
		経済産業コース	４名	４名	-
		まちづくり・文化コース	３名	３名	-
		健康･スポーツコース	１名	１名	-
		食農環境コース	２名	２名	-
短期大学部(女子のみ募集)	ライフデザイン総合学科		５名	５名	-

（※）文学部は学部全体入試を実施します。学部全体入試による入学者は、本人の希望と１年次の成績により、２年次進級時に所属する学科・コース・専攻が決まります。１年次の所属は人文社会学科となります。
人文社会学科、歴史地理学科、日本語日本文学科、心理学科を合算した募集定員となります。
※学部・学科等の詳細は、「大学案内２０２４」等を参照してください。

３．出願資格

専願制　全学部・短期大学部

＜全学部＞次の(1)～(4)〔国際コミュニケーション学部は(1)～(5)〕全項目に該当する者。
＜短期大学部＞次の(1)～(3)全項目に該当する者。

(1)	(学部)　２０２４年３月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みの者。
	(短期大学部)２０２４年３月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みの者(女子)。
(2)	本学専願者(本学を第１志望とし、合格者は必ず入学すること)。
(3)	日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校長が推薦する者。
(4)	高等(中等教育)学校の全体の学習成績の状況が３．５以上の者。
(5)	国際コミュニケーション学部は、次のいずれかの資格取得者または相当する資格取得者。(ただしTOEIC®-IP及びGTECアセスメント版は除く)
	①実用英語技能検定　２級以上合格者又は２級以上を受験し１９８０以上取得者(注１)
	②ケンブリッジ英語検定　１４０以上取得者
	③国際連合公用語英語検定　Ｂ級以上合格者
	④ＴＯＥＦＬ－ｉＢＴ®　４８以上取得者
	⑤ＴＯＥＩＣ®Ｌ＆Ｒ　５５０以上取得者
	⑥ＴＯＥＩＣ®Ｌ＆Ｒ＋ＴＯＥＩＣ®Ｓ＆Ｗ　７９０以上取得者
	⑦ＧＴＥＣ　９６０以上取得者
	⑧ＴＥＡＰ　２５０以上取得者(注２)
	⑨ＩＥＬＴＳ™　４．０以上取得者

※２０２１年４月以降に取得したスコア等を提出した者のみ対象（ただし、出願時において有効期限内のもの、オフィシャルスコアに限る）。
(注１)　英検S-CBT（英検CBT含）も可。
(注２)　TEAPは４技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)で受験することが必要。TEAP CBTは対象外。

併願制　全学部・短期大学部

＜全学部：学科試験型＞次の(1)～(3)全項目に該当する者。
＜国際コミュニケーション学部：面接型＞次の(1)～(4)全項目に該当する者。
＜短期大学部＞次の(1)～(2)全項目に該当する者。

(1)	(学部)　２０２４年３月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みの者。
	(短期大学部)２０２４年３月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校卒業見込みの者(女子)。
(2)	日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校長が推薦する者。
(3)	高等(中等教育)学校の全体の学習成績の状況が３．０以上の者。
(4)	国際コミュニケーション学部(面接型)は、次のいずれかの資格取得者または相当する資格取得者。(ただしTOEIC®-IP及びGTEC アセスメント版は除く)
	①実用英語技能検定　２級以上合格者又は２級以上を受験し１９８０以上取得者(注１)
	②ケンブリッジ英語検定　１４０以上取得者
	③国際連合公用語英語検定　Ｂ級以上合格者
	④ＴＯＥＦＬ－ｉＢＴ®　４８以上取得者
	⑤ＴＯＥＩＣ®Ｌ＆Ｒ　５５０以上取得者
	⑥ＴＯＥＩＣ®Ｌ＆Ｒ＋ＴＯＥＩＣ®Ｓ＆Ｗ　７９０以上取得者
	⑦ＧＴＥＣ　９６０以上取得者
	⑧ＴＥＡＰ　２５０以上取得者(注２)
	⑨ＩＥＬＴＳ™　４．０以上取得者

※２０２１年４月以降に取得したスコア等を提出した者のみ対象（ただし、出願時において有効期限内のもの、オフィシャルスコアに限る）。
(注１)　英検S-CBT（英検CBT含）も可。
(注２)　TEAPは４技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)で受験することが必要。TEAP CBTは対象外。
※併願制は試験日が異なれば、学内外の併願が可能で、**短期大学部（女子のみ募集）は本学他学部との同日出願が可能。**

４．出願書類

書類番号	書類	別紙番号	内容	専願制 法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、文学部、地域政策学部	専願制 国際コミュニケーション学部	専願制 短期大学部	併願制（学科試験型） 全学部（短期大学含む）	併願制（面接型） 国際コミュニケーション学部
(1)	出願確認票		インターネット出願登録後に印刷	●	●	●	●	●
(2)	高等（中等教育）学校調査書		厳封	●	●	●	●	●
(3)	高等（中等教育）学校長推薦書	別紙①	厳封	●	●	●	●	●
(4)	志望理由書	別紙②	自筆（800 字以内）	●	●	×	×	●
(5)	短期大学部志望理由書	別紙③	自筆（400 字以内）	×	×	●	×	×
(6)	出願資格資料貼付用紙	別紙④	資格の合格証書等（写し）を貼付	×	●	×	×	●

●：提出必須
×：提出不要

全提出書類を書類番号順（１）～（６）に揃え、クリップでとめてください（ホチキス等使用不可）。

公募制推薦入試における出願方法はインターネット出願となります。
インターネット出願は、「出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」によって完了します。

出願登録後、入学検定料をお支払いいただき、出願書類を郵送してください。

出願登録期間	２０２３年１１月１日（水）１０時００分～１１月８日（水）１５時００分
入学検定料のお支払い期間	２０２３年１１月１日（水）～１１月８日（水）１７時００分
出願書類の郵送期限	２０２３年１１月８日（水）消印有効

５．試験日・試験場

試験日	２０２３年 １１月 １９日(日)

試験場	法学部、経済学部、経営学部 現代中国学部、国際コミュニケーション学部	名古屋校舎
	文学部、地域政策学部、短期大学部(※)	豊橋校舎

(※)短期大学部に出願し、名古屋校舎を試験場とする学部を併願する場合は、**名古屋校舎での受験**となります。

６．選考方法

専願制

【法学部、経済学部、経営学部】
調査書（全体の学習成績の状況）、英語学科試験、グループ面接により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	９時４０分

選考方法	試験時間	配点
調査書(全体の学習成績の状況)		５０点(注)
英語学科試験	１０時００分～１１時００分（６０分）	１００点
グループ面接	１２時１５分～（１５分程度）	可または不可

【現代中国学部、地域政策学部】
調査書（全体の学習成績の状況）、英語学科試験、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	９時４０分

選考方法	試験時間	配点
調査書(全体の学習成績の状況)		５０点(注)
英語学科試験	１０時００分～１１時００分（６０分）	１００点
個人面接	１２時１５分～（１人１０分程度）	５０点

【国際コミュニケーション学部】
調査書(全体の学習成績の状況)、個人面接、国語学科試験により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	９時４０分

選考方法	試験時間	配点
調査書(全体の学習成績の状況)		５０点(注)
個人面接	１０時００分～（１人１０分程度）	(英語学科) １００点 (国際教養学科) ５０点
国語学科試験	１２時１５分～１３時１５分（６０分）	５０点

○個人面接について
英語学科：英語の文章及び志望理由書の内容等に関する英語による口頭試問。
国際教養学科：志望理由書の内容に関する日本語による口頭試問。

(注)高等(中等教育)学校の全体の学習成績の状況を１０倍した数値を得点とします(５０点満点)。

【文学部】

調査書(全体の学習成績の状況)、英語学科試験、国語学科試験、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	９時４０分

選考方法	試験時間	配点
調査書(全体の学習成績の状況)		５０点(注)
英語学科試験	１０時００分～１１時００分（６０分）	１００点
国語学科試験	１２時１５分～１３時１５分（６０分）	１００点
個人面接	１４時００分～(１人１０分程度)	５０点

【短期大学部】

調査書(全体の学習成績の状況)、学科試験(英語または国語を出願時に選択)、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

選考方法	試験時間		配点
調査書(全体の学習成績の状況)			５０点(注)
英語選択者	集合時間	９時４０分	
	学科試験	１０時００分～１１時００分(６０分)	１００点
	個人面接	１２時１５分～(１人１０分程度)	５０点
国語選択者	集合時間	９時４０分	
	個人面接	１０時００分～(１人１０分程度)	５０点
	学科試験	１２時１５分～１３時１５分(６０分)	１００点

(注)高等(中等教育)学校の全体の学習成績の状況を１０倍した数値を得点とします(５０点満点)。

併願制（学科試験型）

【法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、国際コミュニケーション学部、文学部、地域政策学部】
調査書(全体の学習成績の状況)、英語学科試験、国語学科試験により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	９時４０分

選考方法	試験時間	配点
調査書(全体の学習成績の状況)		２０点(注)
英語学科試験	１０時００分～１１時００分（６０分）	１００点(※)
国語学科試験	１２時１５分～１３時１５分（６０分）	１００点

（※）国際コミュニケーション学部は２００点。

【短期大学部】
調査書(全体の学習成績の状況)、学科試験(英語または国語を出願時に選択)により総合判定して合格者を決定します。
国際コミュニケーション学部(面接型)を併願する場合、学科試験は「英語」を選択。

選考方法	試験時間		配点
調査書(全体の学習成績の状況)			２０点(注)
英語選択者	集合時間	９時４０分	
	学科試験	１０時００分～１１時００分(６０分)	１００点
国語選択者	集合時間	１１時５５分	
	学科試験	１２時１５分～１３時１５分(６０分)	１００点

併願制（面接型）

【国際コミュニケーション学部】
調査書(全体の学習成績の状況)、英語学科試験、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	９時４０分

選考方法	試験時間	配点
調査書(全体の学習成績の状況)		２０点(注)
英語学科試験	１０時００分～１１時００分（６０分）	１００点
個人面接	１２時１５分～　（１人１０分程度）	５０点

○個人面接について
英語学科：英語の文章の内容等に関する英語及び日本語による口頭試問。
国際教養学科：志望理由書の内容に関する日本語による口頭試問。

(注)高等(中等教育)学校の全体の学習成績の状況を４倍した数値を得点とします(２０点満点)。

７．学科試験出題範囲

学科試験は、外国語、国語ともに全問マークシート方式です。

教科	科目
外国語	「ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ」（ﾘｽﾆﾝｸﾞを除く）
国　語	「国語（近代以降の文章）」

８．合格発表

発表日	２０２３年 １２月 ４日(月)１０時００分～

※発表方法の詳細について１７ページを参照してください。

９．入学手続

合格者の入学手続は、第一次入学手続と第二次入学手続に分かれています。それぞれの期限内に所定の手続きをしてください。なお、入学手続の詳細は、合格発表日以降、受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」にて「入学案内」を取得しご確認ください。

区分	期限	内容
第一次入学手続	２０２３年 １２月 １１日(月)《最終日収納印有効》	入学金納入
	２０２３年 １２月 １１日(月)　１５時００分	ＷＥＢ入学手続
第二次入学手続	２０２３年 １２月 ２５日(月)《最終日収納印有効》	入学金を除く学納金等納入
	２０２４年　３月　８日(金)《消印有効》	入学手続書類提出(※)

(※)入学手続書類として、卒業証明書（高等学校発行）等をご準備いただく必要があります。

「一般推薦(併願制)」「短大一般推薦(併願制)」については第二次入学手続の延期や入学金振替ができます。詳細は、受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」にてご確認ください。

※第二次入学手続の延期について

他大学(本学他学部を含む)を併願受験し、第一次入学手続をした場合に限り、第二次入学手続を、併願受験大学の合格発表日の翌日〔最終３月２２日(金)〕まで延期することができます。

※入学金振替制度について

一般推薦(併願制)、短大一般推薦(併願制)に第一次入学手続後、一般選抜にて本学の他学部・他学科・他コースに合格した場合は入学金の振替ができます（再度、入学金を納入する必要はありません）。

Ⅱ．公募制推薦入試（情報・簿記会計推薦）

１．趣　　旨

本学経済学部及び経営学部に学ぶことを強く志望し、各々の分野で優れた能力を備え、学力・人物ともに優れた生徒を公募制推薦入試により受け入れる。

２．募集定員

学部	学科	募集定員
経済学部	経済学科	５名
経営学部	経営学科	６名
	会計ファイナンス学科	８名

※学部・学科等の詳細は、「大学案内２０２４」等を参照してください。

３．出願資格

次の(1)～(3)全項目に該当する者。

(1)　２０２４年３月に日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校を卒業見込みの者。

(2)　日本(海外の在外教育施設を含む)の高等(中等教育)学校長が推薦する者。

(3)　次のａ～ｅのいずれかに該当する者。

- ａ．応用情報技術者試験　合格者
- ｂ．高等(中等教育)学校の全体の学習成績の状況が３．８以上で、基本情報技術者試験合格者
- ｃ．日本商工会議所簿記検定　１級合格者
- ｄ．高等(中等教育)学校の全体の学習成績の状況が４．０以上で、次の①～③いずれかに該当する者。
  - ①日本商工会議所簿記検定　２級合格者
  - ②全国商業高等学校協会簿記実務検定　１級合格者
  - ③ＩＴパスポート試験　合格者
- ｅ．全国経理教育協会簿記能力検定　上級合格者

※ａ・ｂ・ｃ・ｅによる出願については、資格点として加点をします。
応用情報技術者試験・日本商工会議所簿記検定１級・全国経理教育協会簿記能力検定上級合格者には３０点、基本情報技術者試験合格者には１５点を加点します。
※試験日が異なれば、学内外の併願が可能です。

４．出 願 書 類

書類番号	書類	別紙番号	内容	併願制（情報・簿記会計推薦）経済学部、経営学部
(1)	出願確認票		インターネット出願登録後に印刷	●
(2)	高等（中等教育）学校調査書		厳封	●
(3)	高等（中等教育）学校長推薦書	別紙①	厳封	●
(4)	志望理由書	別紙②	自筆（800 字以内）	●
(5)	出願資格資料貼付用紙	別紙④	資格の合格証書等（写し）を貼付	●

●：提出必須

全提出書類を書類番号順（１）～（５）に揃え、クリップでとめてください（ホチキス等使用不可）。

公募制推薦入試における出願方法はインターネット出願となります。
インターネット出願は、「出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」によって完了します。

出願登録後、入学検定料をお支払いいただき、出願書類を郵送してください。

出願登録期間	２０２３年１１月１日（水）１０時００分～１１月８日（水）１５時００分
入学検定料のお支払い期間	２０２３年１１月１日（水）～１１月８日（水）１７時００分
出願書類の郵送期限	２０２３年１１月８日（水）消印有効

５．試験日・試験場

試験日	２０２３年 １１月 １９日(日)

試験場	経済学部、経営学部	名古屋校舎

６．選考方法

調査書(全体の学習成績の状況)、資格点、グループ面接、国語学科試験により総合判定して合格者を決定します。

集合時間	９時４０分

選考方法	試験時間	配点
調査書(全体の学習成績の状況)		５０点(注１)
資格点		出願資格に応じ、加点を行う(注２)
グループ面接	１０時００分～(１５分程度)	可または不可
国語学科試験	１２時１５分～１３時１５分（６０分）	１００点

(注１)高等(中等教育)学校の全体の学習成績の状況を１０倍した数値を得点とします(５０点満点)。
(注２)応用情報技術者試験・日本商工会議所簿記検定１級・全国経理教育協会簿記能力検定上級合格者には３０点、基本情報技術者試験合格者には１５点を加点します。

７．学科試験出題範囲

学科試験は、全問マークシート方式です。

教 科	科 目
国 語	「国語（近代以降の文章)」

８．合格発表

発表日	**２０２３年 １２月 ４日(月)１０時００分～**

※発表方法の詳細については１７ページを参照してください。

９．入学手続

合格者の入学手続は、第一次入学手続と第二次入学手続に分かれています。それぞれの期限内に所定の手続きをしてください。なお、入学手続の詳細は、合格発表日以降、受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」にて「入学案内」を取得しご確認ください。

区分	期限	内容
第一次入学手続	２０２３年 １２月 １１日(月)《最終日収納印有効》	入学金納入
	２０２３年 １２月 １１日(月)　１５時００分	ＷＥＢ入学手続
第二次入学手続	２０２３年 １２月 ２５日(月)《最終日収納印有効》	入学金を除く学納金等納入
	２０２４年　３月　８日(金)《消印有効》	入学手続書類提出(※)

(※)入学手続書類として、卒業証明書（高等学校発行）等をご準備いただく必要があります。

「情報・簿記会計推薦」については第二次入学手続の延期や入学金振替ができます。詳細は、受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」にてご確認ください。

※第二次入学手続の延期について
他大学(本学他学部を含む)を併願受験し、第一次入学手続をした場合に限り、第二次入学手続を、併願受験大学の合格発表日の翌日〔最終３月２２日(金)〕まで延期することができます。

※入学金振替制度について
情報・簿記会計推薦に第一次入学手続後、一般選抜にて本学の他学部・他学科・他コースに合格した場合は入学金の振替ができます（再度、入学金を納入する必要はありません）。

共通事項

公募制推薦入試における出願方法はインターネット出願となります。
インターネット出願は、「出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」によって完了します。

STEP 1　出願準備

出願環境の準備

インターネットに接続されたパソコン、タブレット、スマートフォン等を用意してください。
また、メールアドレスの入力が必須となりますので、ご用意ください。

出願期間の確認

出願登録後、入学検定料をお支払いいただき、出願書類を郵送してください。

出願登録期間	2023年11月1日（水）10時00分～11月8日（水）15時00分
入学検定料のお支払い期間	2023年11月1日（水）～11月8日（水）17時00分
出願書類の郵送期限	2023年11月8日（水）消印有効

出願登録の準備

出願登録を行う際、顔写真データのアップロードが必要です。
出願登録前に以下の内容をご確認いただき、顔写真データを準備してください。
試験当日にアップロードした写真と受験者本人を試験室で照合します。

顔写真データ （JPEGファイル）	画像サイズは写真アップロード画面から調整が可能です。 ●本人のみが写っているもの ●カラー写真であること ●出願前３カ月以内に撮影したもの ●無帽、上半身正面、無背景（白・青・グレーを基調とした無地の背景） ●私服・制服どちらでも可 ●データ形式はJPEG イメージ図 ＜注意事項＞ ●個人が特定しづらいものは使用できません。 ●画像に加工を施しているものは使用できません。 ●眼鏡着用の場合、レンズは無色透明に限ります。 ●壁に近すぎると、影が濃く出て、輪郭が分からなくなる恐れがあります。 ●フラッシュを使用すると顔全体が白くなりすぎ、陰影がなくなる場合があります。 ＜不適切な写真例＞ ●被写体が小さい ●マスク・帽子等を付けている ●髪が目にかかっている ●目をとじている ●輪郭が切れている ●画質が粗い ●サイズが横に長い ●保存形式がJPEGではない **※アップロードした写真が不適切な場合は、再提出になることがあります。**

出願書類の準備

出願登録後に印刷いただく「出願確認票」の他に、調査書、推薦書等が必要です。
出願に必要な書類を以下のページで確認後、出願登録前に準備しておいてください。

○公募制推薦入試 一般推薦（専願制・併願制） ○短大公募制推薦入試 一般推薦（専願制・併願制）	P. 5
○公募制推薦入試 情報・簿記会計推薦	P. １１

STEP 2　インターネット出願ページにアクセス

受験生向けサイトからインターネット出願ページにアクセスしてください。

愛知大学受験生向けサイト	QR コード
https://adm.aichi-u.ac.jp/	

STEP 3　出願登録

①トップページ（利用案内）

利用案内を確認し、出願を開始します

②入試種別選択

志望する入試方式を選択します。

③学部等の選択

志望する学部等を選択します。

④志願者情報入力

志願者情報を入力します。

⑤顔写真アップロード

顔写真をアップロードします。

⑥アンケート入力

アンケートを入力します。

⑦最終確認

入力内容を確認し、よろしければ「出願」をクリックします。

⑧受付完了

「提出書類印刷」と「お支払い方法選択」ボタンが表示されます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。

注意事項

●出願確認票の再出力、**受験票の印刷**の際、**「ユーザＩＤ」**と**「パスワード」**が必要になりますので、忘れないようにしてください。
●出願時に志願者情報入力で登録した**電話番号**は、合格発表、入学手続の際にも必要になりますので、間違いのないよう登録の上、忘れないようにしてください。。
●出願完了後の志望学部・学科・コース等の変更・取消は一切認めません。

STEP 4　入学検定料の支払い

○公募制推薦入試 　一般推薦（専願制・併願制） ○短大公募制推薦入試 　一般推薦（専願制・併願制）	35，000円（※）
○公募制推薦入試 　情報・簿記会計推薦	

（※）短大公募制推薦入試（併願制）を出願し、学部との併願出願（２出願）の場合のみ入学検定料は４５，０００円となります。

出願登録後、以下の期間内にお支払い願います。

入学検定料のお支払い期間（※）	2023年11月1日（水）～11月8日（水）17時00分

（※）出願登録後７２時間以内にお支払いください。出願最終日のお支払いは１７時００分までとなります。

以下の方法でお支払いが選択できます。

クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
コンビニエンスストア	**セブンイレブン、デイリーヤマザキ、セイコーマート** ▸店頭設置端末は使用しません。レジで「インターネット代金支払」または「オンライン決済」であることを店員に伝え、請求内容を確認の上、お支払いください。
	ファミリーマート、ローソン、ミニストップ ▸店頭設置端末の画面指示に従って入力。端末から出力される「受付票／申込券」を持って30分以内にレジでお支払いください。
銀行ATM（Pay-easy）	**銀行ATMによる支払いは、Pay-easyに対応した銀行のみ可能です。** ※窓口での支払いはできません。 ※コンビニエンスストアに設置されているATMはご利用できません。
ネットバンキング	**名義は受験生本人でなくても構いません。** 出願登録時の「志願者情報入力」画面では、受験生本人の情報を登録してください。

注意事項

●入学検定料の他に取扱手数料（１，１００円）が必要となります。
●出願登録後７２時間以内に入学検定料をお支払いください。
　７２時間を過ぎた場合、再度出願登録からやり直してください。
●出願最終日のお支払いは１７時００分までとなりますので注意してください。
●領収証（原本）は控えとなりますので、大切に保管してください。
●一旦納入された入学検定料は返還しません。

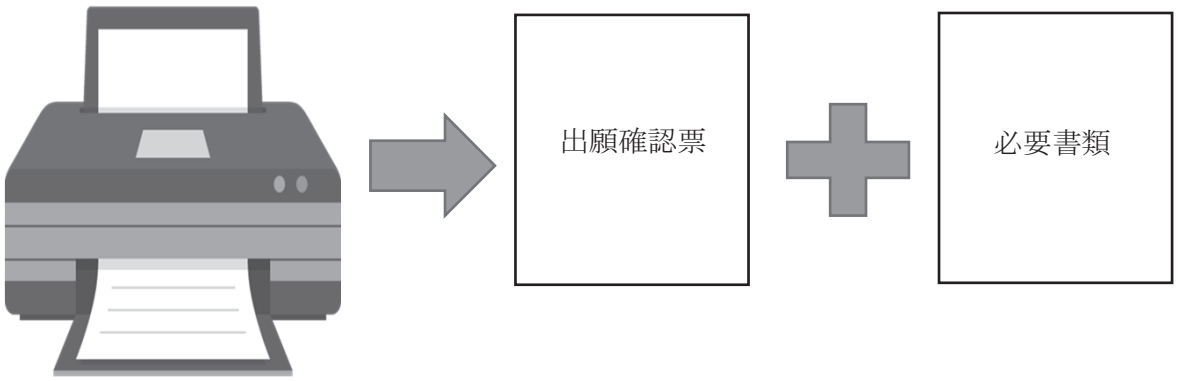
STEP 5　出願書類の郵送

出願に必要な書類一式を、市販の角形２号（２４０㎜×３３２㎜）の封筒を使用して、必ず簡易書留速達で郵送してください。

出願に必要な書類を以下のページで確認し、郵送してください。

○公募制推薦入試 一般推薦（専願制・併願制） ○短大公募制推薦入試 一般推薦（専願制・併願制）	P. 5
○公募制推薦入試 情報・簿記会計推薦	P. １１

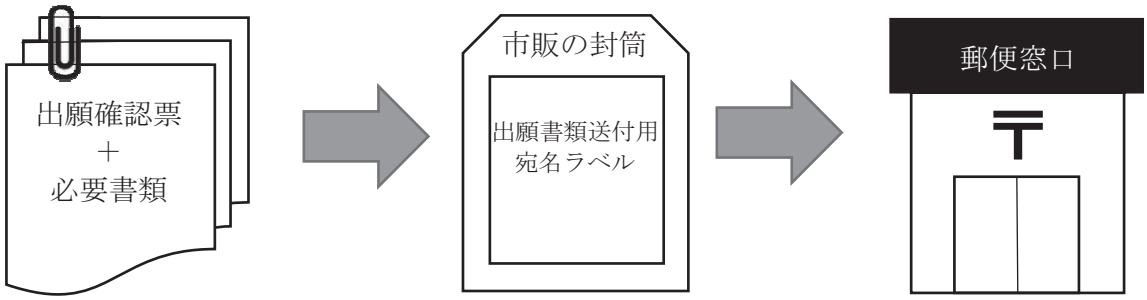
出願確認票の印刷及び調査書、推薦書等その他必要書類をご準備ください。
自宅にプリンタがない場合は、ＵＳＢメモリやアプリを使用してコンビニ等で印刷してください。



市販の角形２号（２４０㎜×３３２㎜）の封筒に、募集要項巻末綴込みの「出願書類送付用宛名ラベル」を貼付してください。

出願確認票をはじめとする必要書類を書類番号順に揃え、クリップでとめて不備のないよう封入してください。

封入後、郵便窓口で簡易書留速達にて郵送してください。



注意事項

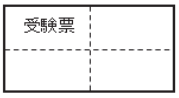
●出願完了後の入試種別、志望学部・学科・コース等の変更・取消は一切認めません。
●一旦受理された書類及び納入された入学検定料は、返還しません。

STEP 6　受験票の印刷

受験票発行予定日より、インターネット出願ページから印刷してください。**別途受験票の郵送はありません**ので、必ず受験票ＰＤＦを保存し、印刷して試験当日に持参してください。印刷にはインターネット出願登録時に登録した「ユーザＩＤ」と「パスワード」が必要になりますので、忘れないようにしてください。

受験票の発行予定日は以下の通りです。

受験票発行予定日	**２０２３年１１月１５日（水）１０時００分～**

①	インターネット出願ページにアクセス	受験票ＰＤＦダウンロード通知メール受信後、インターネット出願ページの右下にある「ユーザ登録済の受験生用」欄に、出願登録時に登録した「ユーザＩＤ」と「パスワード」を入力し、「出願状況確認」ボタンをクリックしてログインしてください。
②	受験番号を確認	出願確認票に記載されている「出願受付番号」をクリックして出願状況詳細を表示し、受験番号欄に記載されている受験番号を確認してください。
③	受験票を印刷（Ａ４）	出願状況詳細に表示されている受験番号欄の右側にある「印刷」ボタンをクリックし受験票ＰＤＦをダウンロードします。ダウンロードした受験票ＰＤＦは、Ａ４用紙に印刷し、４つ折りにして試験当日に持参してください。なお、合否照会時にも必要となりますので、紛失しないよう大切に保管してください。  ※イメージ図

合格発表

発表日	**２０２３年１２月４日(月)１０時００分～**

・合格発表及び入学手続に受験ポータルサイト「ＵＣＡＲＯ」を利用します。１８ページの案内に従って、登録を行い、合否照会ができるようご準備ください。
・**別途合格通知書及び入学手続書類の郵送はありません**ので、ご注意ください。
・合否に関する本学へのお問い合わせには一切応じません。

利用上の注意

・本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続の遅れは認められません。
・合否照会は利用期間外は利用できません。
・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
・操作方法ならびに合否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。
・パソコン等のブラウザ設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。

重要　受験ポータルサイト『UCARO（ウカロ）』合格発表に関わるご案内

愛知大学では、合格発表及び、入学手続に受験ポータルサイト「UCARO」を利用します。以下の案内に従って、①②の登録を行い、合否照会ができるようにご準備ください。合否照会や入学手続について見落としのないように、**「親子連携」（詳細は右記サイト参照）を行うことをお勧めします。**

サイトへの
QRコード
https://www.ucaro.net/

STEP①　アカウント作成（UCAROのユーザー登録）

1

Web画面を開き、
「新規会員登録」
を選択。
※利用規約・個人情報の取扱いに関する同意条項を必ずご確認ください。
※既に登録済みの方は、STEP②へ

2

メールアドレスを入力し
「送信する」→送信されたメールを開き本文中のURLから本登録に進む
※「ucaro.net」からのメールが受信できるようにあらかじめ設定してください。

3

必要事項の入力や志望大学などの登録をして「お気に入り大学の選択へ」をタップ。

4

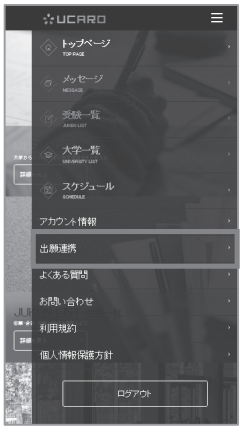
愛知大学を選択し
「入力内容を確認する」→次画面で
「この内容で登録を完了する」
をタップ。

STEP②　出願連携(受験番号との連携登録)

受験票発行予定日以降、受験番号を確認し、合格発表日までに出願連携を行ってください。

①メニュー

メニュー画面の[出願連携]をクリックします。



②出願連携　情報入力

出願時に入力した個人情報を入力します。

出願時に登録した
●氏名（全角カタカナ）
※「ツ」「ヨ」などの小文字も全て大文字入力してください。
●生年月日
※月日は２ケタで入力してください。［例］1月1日→01月01日
●電話番号
※インターネット出願時に自宅電話番号と携帯電話番号の２つを登録した場合、自宅電話番号で登録された方を入力してください。
●受験番号
を入力します。
出願大学**「愛知大学」**を選択し「入力内容を確認する」をクリックしてください。なお、出願媒体は、「インターネット」を選択してください。

③出願連携完了

メニュー画面の[受験一覧]をクリックすると連携された出願情報が表示されます。

STEP③　合否照会（合格発表日時以降有効）

受験一覧より合否を確認する受験番号を選択し、**合否照会**をクリックします。

【備考】
・合否照会は、合格発表日時から有効になります。
・合格通知は、合否照会の画面から取得することができます。

共通事項

出願に関するＱ＆Ａ

	Question	Answer
出願登録に関すること	プリンタは必要ですか？	出願登録完了画面に表示される出願確認票及び試験時に必要な受験票を印刷するために必要です。自宅にプリンタがない場合は、USB メモリやアプリを使用してコンビニ等のマルチコピー機等で印刷してください。
	出願登録できたか不安です。 確認できますか？	出願登録が完了すると、登録されたメールアドレス宛に確認メールをお送りします。また、登録完了後に出願登録トップ画面からユーザ ID、パスワードを入力し、出願内容を確認することもできます。 なお、メールアドレスはスマートフォンや携帯電話のものも利用できます。ただし､メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがありますのでドメイン（@sak-sak.net）を受信指定してください。
	個人情報を誤って登録してしまいましたが変更できますか？	【入学検定料支払い前の場合】 現在の登録はそのままにして、はじめから出願登録をやり直してください。 【入学検定料支払い後の場合】 印刷した出願確認票の訂正箇所に二重線を赤ペンで引き、空いているスペースに正しい内容を赤ペンで記入してください。ただし、入試種別、志望学部・学科・コース等の変更・取消はできませんのでご注意ください。
	「ご指定のページがみつかりません。」と表示されます。	一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を２画面以上開いた場合等に表示されることがあります。はじめから出願登録をやり直してください。途中でブラウザを閉じてしまった場合も、はじめから出願登録をやり直してください。
	氏名、住所の入力で正しい漢字に変換または入力ができませんが、どうしたらいいでしょうか？	氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JIS コード第一・第二水準外の文字等で登録エラーになる場合は、代替の漢字（ない場合はカタカナ）を入力してください。 入試に関する内容（出願登録、受験票、合格通知書、入学手続等）は代替の漢字（ない場合はカタカナ）を使用します。入学後に申請することで正しい漢字に変更することができます。
	志願者情報入力画面でユーザ ID とパスワードを登録しなければいけませんか？	志願者情報入力画面でユーザ ID とパスワードを登録してください。 出願確認票の再出力及び試験時に必要な受験票の印刷の際、ユーザ ID とパスワードが必要になりますので、忘れないようにしてください。
入学検定料の支払いに関すること	出願登録後、７２時間以内に入学検定料の支払いができなかった場合、どうしたらいいですか？	７２時間を過ぎた場合、再度出願登録からやり直してください。なお、出願登録は出願登録最終日の１５時００分まで、入学検定料の支払いは出願登録最終日の１７時００分までとなります。余裕を持ってご利用ください。
	納入した入学検定料を返還してもらうことはできますか？	一旦納入された入学検定料は、返還しません。
その他	受験番号はどのように確認すればいいですか？	受験票発行予定日より、インターネット出願ページから確認可能です。インターネット出願登録時に登録したユーザ ID とパスワードが必要になりますので、忘れないようにしてください。受験票はＡ４用紙に印刷し、４つ折りにして試験当日に必ず持参してください。詳細はＰ．１７を参照してください。
	入試種別、志望学部・学科・コース等の変更・取消はできますか?	入学検定料支払い後の、変更・取消は一切できません。出願登録前にご確認ください。

注 意 事 項

(1)　試験当日の持ちもの

受験票	・受験票は試験時間中、座席カード(受験番号表示)の下に置いてください。 ・受験票を忘れた場合は、試験開始前に試験場本部まで申し出てください。 ・受験票の氏名等に間違いがある場合は、試験前日までに企画部入試課に連絡するか試験当日に試験場本部に申し出てください。
筆記用具	・ＨＢまたはＢの黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴムを持参してください。 ・下敷き、定規、コンパスの使用は認めません。
時計	・試験室には時計がありませんので各自で持参してください。 ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の通信機能や辞書機能を持つもの、またそれらの機能の有無が判別しづらいものを時計として使用することはできません。
昼食	・必要に応じて昼食を持参してください。

(2)　試験当日の注意

・試験場を間違えると受験できなくなりますので、充分注意してください。
・試験開始２０分前までに入室し、着席してください。
・試験開始後２０分を超えて遅刻した場合は受験できません。万一、やむを得ず遅刻する場合は、試験開始前までに受験票記載の連絡先に連絡してください。なお、交通トラブル等により遅刻する場合は各駅で発行する遅延証明書を必ず取得してください。
・試験中の途中退室は認めません。試験中気分が悪くなった場合は監督者に申し出てください。
・休憩時間等、試験室の外に出る際には、必ず受験票を携帯してください。
・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんにしまってください。試験開始後に操作した場合は不正行為とみなします。
・他の受験者の迷惑となる行為や監督者等の指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。
・机の上に置けるものは、受験票の他に黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、袋から出したティッシュペーパー、目薬です。また、ひざ掛けや上着等は、試験実施に影響の無いもの（過度な英文字や地図等のプリントが無いもの）であれば使用できます。
・各試験場とも前日の問い合わせ等の受付窓口は開設しません。また、試験場建物内の下見はできません。
・大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
・**「学校保健安全法」で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等）に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者は受験できません。該当する場合は、試験当日の午前１０時までに受験票記載の連絡先へお申し出ください（罹患の場合、後日、感染を証明する診断書等の提出が必要となります）。なお、追試験は実施しません。**
・発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。また、試験場で発熱・咳等の症状がある受験者には、試験監督等から座席の移動や試験室の変更をお願いする場合があります。

(3)　その他の注意

・専願制の入試種別で入学を許可された者が入学を辞退した場合は、翌年度よりその学校からの当該入試種別の出願を受理しないことがあります。
・**いったん受理された書類及び納入された入学検定料は、原則返還しません。**
・**出願後の志願学部、学科、コース等の変更は一切認めません。**
・入試結果(合否結果から入学状況まで)を出身学校へ通知します。
・**障がい等により、受験・修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、９月２９日(金)までに必ず企画部入試課へお問い合わせください。**申請手続きを説明し、必要書類をお送りします。本学の入学試験における特別措置は、原則として大学入学共通テストでの措置内容に準じ、可能な限り対応します。また、出願後の不慮の事故等により、受験時に特別な配慮を必要とする場合も速やかにお問い合わせください。

奨学金制度

●教育ローン援助奨学金
日本政策金融公庫等が取り扱う教育ローンを利用して、学納金等(入学金を含む)を納付した場合、奨学金を給付する制度です。教育ローン契約者は、父母またはそれに代わる人のいずれかに限ります。教育ローンの利子のうち、在学中(最短修業年限内)は利子の一部(上限５％)を奨学金として給付します。また、教育ローン利用契約時に別途保証料を支払った場合については、その保証料を採用初年度に限り、１０万円を限度に給付するものです。申請時期は５月または１０月です。

●日本学生支援機構奨学金
日本学生支援機構は、国及び社会にとって有用な人材を育成することを目的とし、成績が平均水準以上で経済的な理由により奨学金を必要とする学生に対して学資を貸与します。申込説明会は４月、決定時期は６月を予定しております。

(参考：昨年度実績)

<table>
<tr><th colspan="2">貸与種別</th><th colspan="4">第一種奨学金(無利息)</th><th>第二種奨学金(有利息)</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">貸与月額</td><td colspan="2">自宅通学</td><td colspan="2">自宅外通学</td><td rowspan="3">短大・学部とも
20,000 円から 120,000 円までの中から１万円単位で選択</td></tr>
<tr><td>学部</td><td>20,000 円、30,000 円、40,000 円、54,000 円から選択</td><td>学部</td><td>20,000 円、30,000 円、40,000 円、50,000 円、54,000 円、64,000 円から選択</td></tr>
<tr><td>短大</td><td>20,000 円、30,000 円、40,000 円、53,000 円から選択</td><td>短大</td><td>20,000 円、30,000 円、40,000 円、50,000 円、53,000 円、60,000 円から選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">主な成績基準</td><td>１年次</td><td colspan="4">高等学校最終２か年又は専修学校高等課程最終２か年の成績が 3.5 以上の者</td><td>出身学校における学業成績が平均水準以上の者</td></tr>
<tr><td>２年次以上</td><td colspan="4">大学における学業成績が本人の属する学部（科）の上位 1/3 以内の者</td><td>大学における学業成績が平均水準以上の者</td></tr>
<tr><td colspan="2">貸与始期</td><td colspan="4">４月</td><td>４月</td></tr>
<tr><td colspan="2">返還方法等</td><td colspan="4">卒業後に無利息で返還する</td><td>卒業後に年利率３％を上限とした利息を上乗せして返還する(在学中は無利息)</td></tr>
</table>

●高等教育の修学支援新制度
本学は、2020 年度から開始された国による「高等教育の修学支援新制度」対象機関として認定されました。学業成績や家計に係る基準を満たす対象者は、本学在学にあたり以下の支援を受けることができます。申込説明会は、入学後毎年春及び秋を予定しております。
制度の詳細は、文部科学省の HP（https://www.mext.go.jp/kyufu/）にてご確認ください。
なお、本学では高校在学時に採用された方も入学手続期限までに入学金及び学納金等を納入いただき、入学後、区分に応じた金額を振込みます。

(参考：昨年度実績)

<table>
<tr><th colspan="2">支援内容</th><th>第Ⅰ区分</th><th>第Ⅱ区分
(第Ⅰ区分の 2/3)</th><th>第Ⅲ区分
(第Ⅰ区分の 1/3)</th></tr>
<tr><td colspan="2">入学金減免額（1 年生のみ）</td><td>200,000 円</td><td>133,400 円</td><td>66,700 円</td></tr>
<tr><td colspan="2">授業料減額（年額）</td><td>700,000 円</td><td>466,700 円</td><td>233,400 円</td></tr>
<tr><td colspan="5">＋</td></tr>
<tr><td rowspan="2">給付奨学金
（月額）</td><td>自宅通学</td><td>38,300 円</td><td>25,600 円</td><td>12,800 円</td></tr>
<tr><td>自宅外通学</td><td>75,800 円</td><td>50,600 円</td><td>25,300 円</td></tr>
</table>

●学業奨励金（給付）
２年次以上を対象に、前年度に修得した科目の単位数および成績に基づき審査を行い、学業成績が特に優れた学生に対して給付します。採用人数は１３１名。

金額	申請・給付時期
授業料半額相当額	給付時期：７月（申請不要）（注）

（注）　採用決定は大学が行います。なお、奨学金を受給するには手続書類の提出が必要です。

●応急奨学金（給付）
主たる家計支持者の死亡・失職・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生を対象とします。なお、出願事由は入学後を対象とします。

金額	申請・給付時期
申請した学期の学費（授業料および教育充実費）相当額	出願事由発生後６ヵ月以内

●学納金（２０２４年度入学生）

（単位：円）

種別 ＼ 学部			法学部 経済学部 経営学部	現代中国学部 国際コミュニケーション学部	文学部	地域政策学部	短期大学部
	入学金	第一次入学手続	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	授業料	第二次入学手続	360,000	390,000	370,000	360,000	355,000
	教育充実費		145,000	145,000	100,000	100,000	105,000
	入学手続時納入額	第一次入学手続計	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
		第二次入学手続計	505,000	535,000	470,000	460,000	460,000
	授業料		360,000	390,000	370,000	360,000	355,000
	教育充実費		145,000	145,000	100,000	100,000	105,000
	秋学期計（納入期限：2024年9月15日）		505,000	535,000	470,000	460,000	460,000

※授業料は2年次以降10,000円ずつ増額となります。
※学納金等は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。
※入学金は初年度（入学年度）のみ徴収します。2年次以降は授業料と教育充実費を徴収します。また、本学の事情によって入学後の学納金等を改定する場合があります。

注意事項

①本学では、入学前に寄付金・学校債等の募集は行っておりません。入学後に教学組織および教育環境の整備・充実、学生支援活動の充実・強化、社会貢献活動の推進等を使途とした募金（寄付金）を学生の保証人の方にお願いしておりますが、応募は任意です。
②学納金のうち、授業料及び教育充実費については学期毎に納入することになります。
③いったん納入された学納金は返還しません。ただし、所定の期日までに入学辞退の手続きをした場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還します。
④次の学部・学科・専攻・コースは実習費の納入が必要です。

（単位：円）

学部・学科・専攻・コース		種別	金額	納入時期
現代中国学部		実習費	280,000	２年次
文学部	人文社会学科 東アジア文化専攻 哲学専攻 図書館情報学専攻 メディア芸術専攻	表現実習費	10,000	２年次
	メディア芸術専攻	実験実習費	60,000	２年次以降毎年
	社会学専攻	調査実習費	20,000	３年次
	歴史地理学科 地理学専攻	調査実習費	10,000	２年次
	心理学科	実験実習費	50,000	２年次以降毎年
地域政策学部	食農環境コース	実験実習費	70,000	２年次及び３年次

現代中国学部の実習（現地プログラム）は、中国語を母語とする外国人留学生を除く実習のため、中国語を母語とする外国人留学生は実習費の納入が不要です。
為替相場の変動等により、追加徴収をお願いする場合もあります。

●委託徴収金（２０２４年度入学生）

委託徴収金は本学が関係諸団体から依頼を受け徴収するものです。

（単位：円）

種別 ＼ 学部		法学部 経済学部 経営学部 現代中国学部 国際コミュニケーション学部 文学部 地域政策学部	短期大学部
後援会・同窓会費	入学手続時１回のみ	40,000	20,000

※金額は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。

別紙①

公募制推薦入試
短大公募制推薦入試

受験番号	※

推　薦　書

2023年　　月　　日

愛知大学学長殿
愛知大学短期大学部学長殿

所 在 地

学 校 名

校 長 名　　㊞

貴大学公募制推薦入試募集要項記載事項にもとづき、下記の生徒を適格と認め推薦いたします。

フリガナ 氏　　名		男・女	生年月日	(西暦)　　年　　月　　日
志願先（＊） （「○」で囲んでください）	法学部　経済学部　経営学部経営学科　経営学部会計ﾌｧｲﾅﾝｽ学科　現代中国学部 国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部英語学科　国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部国際教養学科　文学部 地域政策学部公共政策ｺｰｽ　地域政策学部経済産業ｺｰｽ　地域政策学部まちづくり・文化ｺｰｽ 地域政策学部健康・ｽﾎﾟｰﾂｺｰｽ　地域政策学部食農環境ｺｰｽ 短期大学部			

（＊）必ず「出願確認票」の志願先と一致させてください。

〔注〕 1. ※欄は記入しないでください。
2. 厳封して本人（志願者）に交付してください。

きりとり線

別紙②

記　入　日	2023年　　月　　日	
学　校　名	都道 府県　　学校	
フリガナ		男 ・ 女
氏　　名		

受験番号	※	
いずれかを ○で囲むこと	Ⅰ	一般推薦
	Ⅱ	情報・簿記会計推薦
志願先	学部 学科 コース	

文学部は学科・コース記入不要
地域政策学部はコースまで記入

2024年度 愛知大学志望理由書

（800字詰：横書き）

〔志望理由書作成上の注意〕

1. ※欄は記入しないでください。
2. 黒インクまたは黒ボールペンを使用して、自筆で記入してください。
3. 「本学(志願先学部)志望の理由」「将来の抱負」等を中心に、800字以内で簡潔にまとめてください。

きりとり線

別紙③

記　入　日	2023年　　月　　日
学　校　名	都道府県　　学校
フ リ ガ ナ	
氏　　名	

受験番号	※

2024年度 愛知大学短期大学部志望理由書

（400字詰：横書き）

きりとり線

〔志望理由書作成上の注意〕

1. ※欄は記入しないでください。
2. 黒インクまたは黒ボールペンを使用して、自筆で記入してください。
3. 「これまでに力を入れて取り組んだこと、入学後の抱負」について、400字以内で簡潔にまとめてください。

別紙④

出願資格資料貼付用紙

受験番号	※

※欄は記入しないでください。

フリガナ		資料枚数
氏　名		/

/の右側に提出する資料貼付用紙の総数、
左側に何枚目か記入してください。

貼　付　欄

各入試種別の出願資格に該当する証明書等（いずれもコピー可）をこの枠内に貼付してください。
※本人の実績を客観的に証明するものであること。

〔注 意〕

1. **用紙１枚につき、証明書等を１枚貼付してください。**
   資料が複数ある場合は、本紙をコピーして使用してください。
2. **大きいものはこの用紙の枠からはみ出さないように縮小してから貼付してください。**
   また、資料は重ねて貼付したり、貼付後に折り曲げたりしないようにしてください。
3. 各貼付物の個人名が記載された箇所にピンク色のマーカーで印をつけてください。

＜各入試種別提出一覧＞

	専願制			併願制（学科試験型）	併願制（面接型）	併願制（情報・簿記会計推薦）
内容	法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、文学部、地域政策学部	国際コミュニケーション学部	短期大学部	全学部（短期大学含む）	国際コミュニケーション学部	経済学部、経営学部
資格の合格証書等（写し）を貼付	×	●	×	×	●	●

●：提出必須
×：提出不要

きりとり線

速　　達

切手貼付

（簡易書留速達分）

4 6 1 - 8 6 4 1

名古屋市東区筒井二丁目10-31

愛知大学企画部入試課　行

2024年度　公募制推薦入試
短大公募制推薦入試 出願書類在中

簡易書留

差出人	現住所	〒　　－					
	フリガナ				電話番号（志願者本人と連絡が取れる番号）		
	氏　名				（　　）　　－		
	学校名	都道府県　　学校					
	出願区分（○で囲む）	一般推薦（専願制）	一般推薦（併願制・学科試験型）	一般推薦（併願制・面接型）	情報・簿記会計推薦	短大一般推薦（専願制）	短大一般推薦（併願制）
	志願先	学部　　学科　　コース					

文学部は学科・コース記入不要、地域政策学部はコースまで記入

●下記の書類が入っていますか？もう一度確認し、□にチェックしてください。

書類	別紙番号	専願制 法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、文学部、地域政策学部	専願制 国際コミュニケーション学部	専願制 短期大学部	併願制（学科試験型） 全学部（短期大学含む）	併願制（面接型） 国際コミュニケーション学部	併願制（情報・簿記会計推薦） 経済学部、経営学部
出願確認票		□	□	□	□	□	□
高等（中等教育）学校調査書		□	□	□	□	□	□
高等（中等教育）学校長推薦書	別紙①	□	□	□	□	□	□
志望理由書	別紙②	□	□	×	×	□	□
短期大学部志望理由書	別紙③	×	×	□	×	×	×
出願資格資料貼付用紙	別紙④	×	□	×	×	□	□

×：提出不要

出願締切：2023年11月8日（水）≪消印有効≫

出願書類送付用宛名ラベル

きりとり線

愛知大学で卒業と同時に取得できる資格一覧

卒業に必要な授業科目を履修し必要単位を修得することのほかに、それぞれの課程に定められた諸科目の単位を修得すれば、以下の資格を取得できます。学部・学科によって取得できる資格が異なりますので、出願時にご確認ください。

資格	対応学部	備考
教員	全学部※	詳細は以下の教員免許状一覧をご確認ください
司書・司書教諭	全学部※ 短大（司書のみ）	豊橋校舎にて開講
博物館学芸員	全学部	豊橋校舎にて開講（選択科目の一部を除く）
社会教育主事	全学部	豊橋校舎にて開講（選択科目の一部を除く）
社会調査士	文学部（人文社会学科 社会学専攻）	―
認定心理士	文学部（心理学科）	―

※教員、司書教諭については文学部心理学科では取得できません。

教員免許状一覧

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状が取得できる学部・学科

学部・学科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
法学部	社会	地理歴史、公民
経済学部	社会	地理歴史、公民、商業
経営学部		
経営学科	社会	地理歴史、公民、商業、情報
会計ファイナンス学科	―	商業
現代中国学部	社会、外国語（中国語）	地理歴史、公民、外国語（中国語）
国際コミュニケーション学部		
英語学科	外国語（英語）	外国語（英語）
国際教養学科	社会	地理歴史、公民
文学部		
人文社会学科	社会、外国語（英語）	公民、外国語（英語）
歴史地理学科	社会	地理歴史
日本語日本文学科	国語	国語
心理学科	―	―
地域政策学部	社会	地理歴史、公民

小学校教諭一種免許状※1※2

佛教大学通信教育課程との提携協定に基づき、愛知大学に在学しながら佛教大学特別科目等履修生として所要の単位を修得し、卒業時に小学校教諭一種免許状を取得できます。

※１　佛教大学への学費が別途必要です。
※２　中学校教諭一種免許状を取得する必要があります。

【交通アクセス】

名古屋校舎（名古屋駅地区ささしまライブ）
（法学部・経済学部・経営学部・現代中国学部・国際コミュニケーション学部）
名古屋市中村区平池町四丁目６０－６　　TEL　０５２－５６４－６１１１（代表）
＜アクセス＞
〔鉄道〕　「名古屋」駅より徒歩約１０分
あおなみ線「ささしまライブ」駅下車（名古屋駅より乗車時間１分）
※大学まで歩行者デッキで直結
近鉄「米野」駅下車徒歩約５分
〔バス〕　ささしまウェルカムバス「ささしまライブ」下車

豊橋校舎（愛知県豊橋市）
（文学部・地域政策学部・短期大学部）
愛知県豊橋市町畑町１－１　　TEL　０５３２－４７－４１１１（代表）
＜アクセス＞
〔鉄道〕　豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接（新豊橋駅より乗車時間６分）

入学試験当日は、天候や事故などにより、予期せぬ公共交通機関の遅延などが発生する可能性があります。そのため、試験場までの複数の移動手段、代替ルートを事前に想定することをおすすめします。また、早めに試験場に到着するように心がけてください。
試験当日、以下のアドレスにて緊急時の本学の対応措置についての情報が確認できます。

受験生向けサイト（パソコン・スマートフォン）　https://adm.aichi-u.ac.jp/

【個人情報の取扱いについて】

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、
（１）入学試験の実施（出願処理・試験の実施等）
（２）入学手続、各種案内
とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。
なお、本学は上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者（以下、「委託業者」という）において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対しても、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

感染症や災害等の影響によって、予定している試験が実施困難と判断される場合、内容を一部変更し、実施する可能性があります。なお、変更内容は決定次第、速やかに受験生向けサイトにてお知らせします。

企画部入試課
〒４６１－８６４１　名古屋市東区筒井二丁目１０－３１
TEL（０５２）９３７－８１１２・８１１３（直通）（平日９時～１７時）

※受験及び修学上、特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち必ず企画部入試課までお問い合わせください。